



6. 腹痛

次のうち、どの症状が見られますか？

- 血便が見られる
- おまた(陰のう、股のつけね)を痛がる・はれている
- お腹をぶつけた、もしくは打った後
- お腹がパンパンにふくらんでいる
- 我慢できない痛み、だんだん強くなる痛み、触るだけでも痛い
- 激しく泣いたり泣き止んだりを繰り返している
- ぐったりしている

1つでも「はい」がある



すぐに受診

- 数日、便が出ていない
- おへその周りを痛がる
- がまんできる程度の痛み
- うんちをしたら痛みがやわらいた



通常の診療時間内に受診

ただし症状が大きく変わったら、すぐに医療機関へ

家庭での対応

- ◆排便するだけで落ち着くこともあるので、トイレに行かせてみましょう
- ◆お腹に「の」の字を書くようにマッサージをしてあげると楽になることがあります



観察のポイント (医師に伝えること)

- 痛みの性状を確認しましょう
 - ▶ いつから？
 - ▶ どのあたりが痛い？
 - ▶ 間隔をおいて？ずっと？
- おむつやパンツの中に原因が隠れていることも
 - ▶ 陰のうや股のつけねがはれたり、色が変わっていませんか？
 - ▶ 下痢や血便をしていませんか？
- 最後にうんちをしたのはいつ？



コラム

～便秘について～

こどもの平均的な便の回数は

- ◆乳児 3回/日(母乳栄養)、2回/日(人工乳栄養)
- ◆1～2歳 1～2回/日
- ◆3歳～ 1回/日

便秘のときは便の回数が2回/週以下であったり、排便時に痛みを伴ったり、硬くて大きな便が出たりします

また、毎日排便があっても硬い便が少ししか出ていないときは便秘になっていることもあります

便秘はとくに母乳から人工乳へ変更したときや離乳食への移行期、トイレトレーニングの時期、小学校への通学開始時期などに起こりやすいとされています

食物繊維の多い食品(イモ類、キノコ類、豆類、海藻類など)を食事に取り入れるようにしましょう